

# 補強工事現場を見学

福井県  
診断士会

## 技術交流会も

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は5日、石川県白山市で「北陸自動車道手取川橋



補強工事現場見学会」を開催した。参加者は20人で、中日本高速道路金沢支社の松田健治改良第二担当課長と東洋建設の本杉成美作業所長の説明を受けた。

同補強工事は耐震補強、摩耗対策、塩害対策を目的に実施している。橋脚の摩耗を防ぐ目的で「ダクタルフォーム」を採用。ダクタルの施工状況や鉄筋かぶり部をはつり取った状況などを見学

した。同診断士会は「ダクタルなどの新材料が用いられるなど、通常の補強工事では見ることのできない工法が採用されており、会員にとっても大変興味深い見学会となった」としている。

同診断士会は9月22日に福井市の福井県職員会館で「技術交流会」会員によるコンクリート診断事例の発表」も開催。正会員23人が出席し、6件の事例発表があり、「会員の事例発表があり、」会員間で情報交換を活発に行える土壌を生み出すことができた」（同診断士会）としている。

「ダクタルフォーム」の施工状況などを見学